



萌木

1月号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和8年1月27日発行

原点

校長 山田 勝

新年あけましておめでとうございます。

3学期が始まり2週間。3年生は推薦入試を皮切りに各自の進路実現に向けた具体的な取り組みが、2年生は都内への校外学習、1年生は中学校で初めての宿泊行事であるスキー移動教室への準備が進んでいます。移動教室は昨年度までと訪問地が変わり七中としても初めてが多い行事となります。生徒一人一人にとって実りある取り組みになってほしいと思います。

新しい年の始まりにあたり、人それぞれが新たな目標を定め取り組んでいこうと将来に向けた一歩を踏み出したところだと思います。その目標を達成させるためにも、どうしてその目標を立てるに至ったか土台を固めることは目標達成には大切なことだということを伝えるために、始業式では次のような話をしました。

令和8年、2026年あけましておめでとうございます。

この冬休み、みなさんはどのように過ごしましたか。

この一年間をどのようにしたい、どのように成長していきたい、と新年の抱負を持ちましたか。

この一年もきっと、自分の成長に向けて頑張る皆さんの姿を見せてもらえることになるでしょう。

ただ、一生懸命に頑張っていると、目標達成に向けた道筋が迷ってしまうことがあります。そのとき、よく言われていることが原点に返って目標を見定めるとよい、ということです。自分がどうしてその目標を立てたか、その根本に立ち返ることで頑張る方向性を確かめることができます。

年頭に立てた目標なら、原点は年頭の自分にあります。具体的には、高校受験で第七高校を目標としたとしましょう。入試直前になり不安になって違う高校に変更しようか悩んでしまうことがあります。そういったとき、なぜ自分は第七高校を目標としたのか、見学などを通して成長したい自分、獲得したい力を再確認して目標を見直すと、頑張る方向性がはっきりしてきます。その上で進路変更という選択もあるでしょう。原点を忘れて今の自分の気持ちだけに振り回されないことが大事なことです。このときの目標を立てたときは人によって時期は違いますが「その時」が原点です。

年の初めにあたり、立てた目標をなぜその目標にしたのか整理して考え、自分のものにしておくことが目標達成の道筋をはっきりさせることにつながります。

さて、3学期。皆さんはまたここ七中に集まりました。

3年生はそれぞの進路実現に向けた試験が待っています。七中の成長の延長にある進路実現に向けた目標です。それぞれの目標の原点にあった思いを感じて目標達成に向かっていってください。原点にはあなたと共に頑張った仲間がいます。その仲間と共に頑張った七中の時間を、自分の自信にしてそれぞれの進路に向かってください。

2年生は校外学習、1年生は移動教室に向けた取り組みがあります。班行動の中で自分たちが力を合わせて解決しなければならない課題もあるでしょう。集団生活の中で周りに合わせて行動する場面もあるでしょう。そのように仲間と共に頑張ることを通して、お互いを高めあえる関係を築いてください。仲間と共に頑張る自分と、安心して頑張ることができる関係を作ること。そのことがこれから作る目標の原点につながります。

3学期も一人で活動するときでも、成長を共にしてきた仲間を大切にしながら、やるべきことにしっかり取り組み成長していく七中生であってください。当たり前のことに当たり前として取り組み、目標・夢を持って成長していく3学期にしていきましょう。

七中でともに学ぶ仲間との時間を大切にすることが、自分の大きな成長につながる力となります。たくましく成長する力の獲得を願っています。

今年もよろしくお願ひします。